

2025年度 学校関係者評価書

学校園名 東京学芸大学附属幼稚園竹早園舎・竹早小学校

1 学校関係者による評価

領 域	学校関係者による評価と今後の課題
学校運営	・心身の安全を最優先、いじめは絶対に許さないを徹底し、万が一の場合でも早期発見・解決に結びつけることが大切。 ・被害者を守ることが最優先である。 ・働き方改革を意識して職場環境を常に良好にして欲しい。 ・いじめが多様化（ネットに対する対応）する中で、現場の努力にも限界があることから、大学と連携した人材確保が求められていると考える。 ・ぜひ、先生方のコミュニケーション能力で、児童・保護者たちの情報を得られるようにお願いしたい。 ・情報社会の中、SNSやAIなどメリット、デメリットがある中、導入を進めている。先生方の負担増を明確化して、減少を目指して進めて欲しい。 ・子どもさん及び保護者の方々と話しやすい学校であって欲しい。前に進めて欲しい。 ・いじめに関して学校側は誠実に対応しているように思う。
教育活動 (自己実現活動)	・縦割り活動は竹早園舎・竹早小の優れた教育環境であるので、維持に努めて不登校傾向の解消の一助としたい。 ・縦割り活動を評価したい。 ・いじめ・不登校は教師のアンテナ、コミュニケーションが重要だと思う。 ・少子化で上下関係が少なくなるため、生徒間での縦割り活動は大変大事なことになる。大変良いことと感じた。
研究活動	・「未来の学校プロジェクト」の公開研究会は竹早小の大きな財産である。 ・研究成果は積極的に外部へ発信、PRして欲しい。 ・文京区教員に提供されているバカロレア機構が進めるIB教育についても研究されている学校と連携して、竹早らしい教育をお願いしたい。・積極的に進めて欲しい。 ・他校の先生方との交流も必要ではないか。 ・前に進めて欲しい。
学生の教育・ 支援活動	・本活動は学生にとっても子どもにとっても楽しく有意義であり、実績を積み上げてほしい。 ・教育実習の中で、情報教育の推進をして欲しい。
社会貢献活動	・コワーキングスペースを通しての活動により、関係者の情報共有につなげて欲しい。 ・大いに進めて欲しい。

2 評価の実施概要

委員による授業及び入学式、キッズフェスティバル、竹の子祭、日光林間学園、竹早祭、卒業式などの行事の参観、評議員を含めた学校関係者委員会での自己評価結果の説明・保護者アンケートの説明・その後の意見交換を経て、評価していただいた。

3 学校関係者評価委員、開催日

学校関係者委員：坂巻三登（評議員）矢澤英人（評議員）

熊澤米之（評議員）白石英行（評議員）

野口玲（PTA会長）長谷川高大・倉田辰昭（PTA副会長）

土屋紳一（PTA監査）

開催日：2026年2月26日（木）